

| | | | | | |
|--------------|---|---------------|--|--------------------------------------|--|
| 教科名 | 商業 | 学年 | 3 | 教科書 補助教材 等 | 「ビジネス情報 新訂版」実教出版 「情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集 2・準2級編」日本情報処理検定協会 「情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集 1・準1級編」日本情報処理検定協会 |
| 科目名 | B選択 ビジネス情報 | 単位数 | 3 | | |
| 科目の 到達目標 | ○ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。 ○1年次に学習した表計算ソフトを基礎にして、さらなる高度な知識および応用技術の習得する。 ○情報処理技能検定試験2級および1級を取得する。 | | | | |
| 学期 | 月 | 指導内容 | 主な指導目標 | 予定時数 | 備考 |
| 一 学 期 | 4 | 表計算ソフトの基本的な操作 | 表計算ソフトに関する知識および技術の復習および確認 | 6 | |
| | 5 | 表計算ソフトの応用操作① | 応用関数の知識および技能の習得 日付・時間の計算、表検索、論理関数 (AND関数、OR関数) | 9 | 中間考査 |
| | 6 | 表計算ソフトの応用操作② | 応用関数の知識および技能の習得 表検索(VLOOKUP関数)、多重判断 文の応用、時刻の計算、グラフ作成 | 12 | |
| | 7 | 技能検定試験問題演習 | 表計算ソフトの応用操作①の復習 検定試験過去問題の演習 | 3 | 期末考査 技能検定試験表計算2 級 |
| 二 学 期 | 9 | 表計算ソフトの応用操作③ | 応用関数の知識および技能の習得② データベース関数(DSUM、DAVE RAGE、DMAX、DMIN、DCO UNT等関数) | 10 | |
| | 10 | 表計算ソフトの応用操作④ | 応用関数の知識および技能の習得 特殊関数(ABS関数)、文字列操作関 数(LEFT、RIGHT、 CONCATENATE関数) | 8 | 中間考査 |
| | 11 | 表計算ソフトの応用操作⑤ | 抽出及び抽出後のデータ処理 模擬問題演習 | 11 | |
| | 12 | 検定試験対策 | 模擬問題および過去問題の演習 | 4 | 期末考査 技能検定試験表計算1 級受験 |
| 三 学 期 | 1 | 表計算ソフトの応用操作 | 応用関数の知識および技能の習得 シート間の処理、高度なグラフ、複数グ ラフ | 3 | |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |
| 年間授業 時間数計 | 66 | 1学期 30 | 2学期 33 | 3学期 3 | |
| 学習上の留意点 | ○表計算ソフトの分析ツールを利用して情報を分析するなど、表計算ソフトを効果的に活用する方法を習得する。 ○データや数字を読む力である計数的能力を身に付ける。 | | | | |
| 評価の観点 | | | | 評価方法 | |
| 関心・意欲・態度 | ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用しようとする意欲と態度を持っている。 | | | 定期考査・課題テスト・出席状況・授業態度・提出物などを総合的に評価する。 | |
| 話す・聞く能力 | ネットワーク社会において、十分にコミュニケーションを取ることができたか。 | | | | |
| 読む能力 | ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析、システムの開発、ネットワークの構築など正確な情報に基づいて処理できたか | | | | |
| 知識・理解 | ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識と技能を身に付けている。 | | | | |